

育成委員会だより

あまぬま

平成 26 年
(2014)
3 月 15 日
第 69 号

天沼青少年育成委員会
発行責任者
宮澤 妙子
3399 - 2714
タイヨー美術印刷(株)



毎年おこなっている「子ども料理教室」。一月二十五日(土)、杉並第九小学校家庭科室で賑やかに楽しくスタートしました。天沼小学校と杉九小学校の四年生から六年生までの十三名の子ども達が、九時三十分に集合しました。講師は、杉九小栄養士の上野泰雄先生。そしていつも楽しく教えて下さる調理師の渡邊太郎先生、児玉英樹先生、埴原永幸先生、藤本英人先生です。



まずはデザートのニューナイドウフを作り、冷蔵庫で固めておきます。次にとりかかるとは「肉まん」と言っても市販のものとは少し違って、蒸しパンのような感じ。アルミカップに生地を流し入れ、調理した具を乗せ、また生地を流し入れ、蒸し器で二十分位蒸したら出来上がり。

蒸している間に、今度はキムチスープの準備です。あらかじめとっておいた「さばおし」の美味しいだし汁に豚肉、たっぷりの野菜、キムチを入れ、最後にみそで調味して完成です。給食の時にキムチ鍋が登場する事があるそうです。「締めにはうどんがおすすすめですよ」と、調理師さんのアドバイス。

異なる学校の子どもを、敢えて同じテーブルにしましたが「いただきます」の頃には、笑い声が聞こえてきて、すっかり仲良くなった様子。子ども達からは「みじん切りが難しかった」「肉まんがおいしかった」、大人からは「子ども達が楽しく作っているのを見て、こちらまで楽しくなりました。」との感想がありました。

食べるということは、本当に大事なこと。楽しく作り、楽しく食べることの大切さを教えていただいた一日でした。講師の皆さん、ありがとうございました。(山根 恵津子)

野外活動 むさしの村



九月二十三日(月)、恒例の野外活動は天沼小二十四人、杉九小二十人、育成委員十人の計五十四人で「むさしの村」に行きました。

まずは遊園地。五枚のチケットを持って観覧車、ジェットコースター、ちよっぴり恐いお化け屋敷など、時間ぎりぎりまで楽しみました。

昼食は初めての「バーベキュー」。学校も学年もばらばらに分かれて、たっぷりのお肉と野菜をみんなで「熱い熱い」と言いながら、仲良く焼いて食べました。焼きおにぎりも出て、みんなお腹いっぱい。でも「まだまだお肉が食べたーい」という強者も。食後はさつまいも畑まで歩いて行っておいも掘り。深く深く掘って大きなおいもをゲット。なかにはカエルや虫の幼虫をつかまえて「お土産」にする子も。

今回初めて参加した六年生男子の「とても楽しかった。もっと前から参加すれば良かった」との嬉しい感想がありました。(古田 信子)



環境浄化 勉強会



十一月二十一日(木)、環境浄化勉強会を天沼中学校区地域教育推進協議会との共催で実施し

ました。子ども、地域安全の研究や体験型安全教育の指導をなさっている清永奈穂先生を講師としてお迎えし、「安心、安全な街づくりのために今家庭でできること」というテーマでの講演会でした。安全教育は乳児の頃から、子どもが親の愛情を感じることで土台となり、自分で命を守ることで、他人の命も守れる子どもに育てることが必要だということを感じました。

この講演会の内容を生かし、今後地域との連携を保ちながら、良い街づくりができるよう努力をしていきたいと思えます。

(五十嵐 恵子)





十一月二日(土)、毎年恒例の東原児童館主催、ひがしはら秋まつりが開催されました。

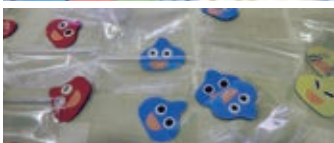
参加者は大人も含めて三三九名と大盛況の中、当育成委員会は毎年お馴染みの「ソースせんべい屋さん」で参加させて頂きました。

一階の遊戯室では、子どもたちが準備してきたお店屋さんやゲーム屋さんが並び、お客様とのやりとりをととても楽しんでいました。

お店屋さんで売られている物は、小学生が作ったとは思えないほど上手で、感心してしまいました。

ゲーム屋さんでは、皆が楽しんでもらえるような工夫がしてあり、使う道具なども手作りです。素晴らしいです。

私たちは二階の一部屋でPTAや学童クラブの保護者の方たち、町会の皆



さんたちとお店を開きました。

お菓子釣り、ポップコーン、ソースせんべいと、昔ながらのお店屋さん。子ども達もそうですが、意外と大人の方達のお客様も多く、とても懐かしそうに買われていました。

隣の部屋では、中学生の子どもたちがわたあめ屋さん。これがまた楽しそうで、始めは不慣れで、わたあめが腕のほうまでまかれてしまい大変そうでしたが、時間が経つにつれて職人さんのようにうまくまけて、小学生から大人気でした。

どのお店も参加した子どもたち、保護者、地域の方々のきずながあったからこそ、開催が出来たと思います。このきずなをこれからも大切にしていきたいと思いました。

(小宮山 美佳)

委員研修 サントリー武蔵野ビール工場見学

一月二十九日(水)、雲ひとつない青空に恵まれたこの日、十五名の参加者でサントリー武蔵野ビール工場を見学しました。

電車にて分倍河原駅まで行き、シャトルバスに乗車約十分ほどで工場に到着。案内スタッフさんの指示に従い、他の一般の見学者と共に工場内へ。

最初に通された大きなフロアーで、まずはスクリーンにて製造工程や環境活動について鑑賞したあと、更に館内奥へと進みます。次はこだわりの素材である「天然水、麦、ホップ」についてのコーナーで、乾燥した麦芽を三粒食したり、ホップの香りを体感しました。私にとっては初めての経験でした。その先は、製麦↓仕込↓発酵↓貯酒↓ろ過↓缶・樽詰を行うための巨大な機械や装置を観覧して歩き、最後に試飲をして終了です。

今回の工場見学をとおして、きれいな天然水ができるまでには、健全な森と長い年月が必要であること、そして物作りの楽しさや難しさ、作る人達の真剣さが伝わってきました。

ビール工場に限らず、色々な分野の工場見学に親子で出向き、今まで知らなかった世界を見るのは楽しいと思います。次代を担う子どもたちがその技術に触れ、興味や関心を持つきっかけになったら嬉しいです。

(佐藤 幸子)



土曜日の幕開け



杉並区立東原中学校
校長 渡辺 宏

杉並区立小・中学校は、教育ビジョン2012で掲げられた「共に学び共に支え共に創る教育」を基本理念とし、「学び」と「循環」、「連続性」と「きめ細やかさ」、「かかわり」と「つながり」を重視した取り組みを推進しております。

また、全ての子どもたちへの切れ目ない成長・学びの支援をきめ細かく行い、知・徳・体の調和のとれた人間形成を行うと共に、感性を磨き、豊かな人間性を育てる質の高い学校づくりを展開し、次世代を担う子どもたちの「生きる力」を育てています。

そのような中、学校は地域と共にある学校づくりを目指し、様々な関係機関と相互連携を図り、その役割を十分に果たしている環境を整備しております。

さらに、生涯学習施策と連動させながら活動に取り組み人々の支援を受け、子どもの学びを共に支える教育に取り組んでいます。そうした取り組みで育まれた地域コミュニティと共に、地域の状況に応じ、子どもたちの望ましい学習環境を提供していくための新しい学校づくりも求められております。

平成二十六年から土曜日において、「これまで以上に豊かな教育環境を提供し、その成長を支えるために、学校・家庭・地域が連携し、役割分担しながら、学校における授業や、地域における多様な学習、文化やスポーツ、体験活動等の機会の充実に取り組みむこと」が重要との観点から、土曜授業が行われることとなりました。

どのような授業を行うかは、学校に判断を任せられておりますが、児童・生徒の発達段階を踏まえつつ、「地域と連携した体験活動を行う」、「豊富な知識・経験を持つ外部人材の協力を得る」など、地域の力を生かしながら、土曜日に実施することの利点を生かした工夫を展開することが期待されておりますので、どうぞ、ご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

「AKA発信」



杉並区立天沼小学校
校長 福田 晴一

私は、昨年の四月に天沼小学校に異動してまいりました。年間予定に「AKA25」とあり、どんな教育活動なのか、教員研修なのか首をかしげました。地域の皆様方はご存知でしょうか。「AKA」とは、天沼中学校・沓掛小学校・天沼小学校の三校のイニシャルを取り、その上で平成二十五年度の活動として「AKA25」と呼称しています。まさに、天沼青少年育成委員会のエリアの三校による「小中連携」の核となっている活動です。杉並区には二十三の中学校があり、それぞれの中学校が近隣の小学校と連携をとって、教育活動に臨んでおります。小中一貫教育と言われる施設一体型ではなく、ほとんどが施設分離の小中連携教育です。

区内の中でも、私たちの「AKA」はモデル的な取り組みをしております。学期ごとにお互いの授業を見合う機会を作り、まずは教員同士が知り合うことから始めています。教科外でも「伝統文化理解」「生活指導」「道徳教育」「キャリア教育」の分科会を作り、子ども達の健やかな成長、高い教養、規範意識も目指しています。また夏には、各校で児童生徒・保護者・育成委員会が主体となった行事「天沼チャリティー」「沓掛盆踊り」「あっぱれ天小子どもまつり」が開催されています。これも、中学生がボランティアとして参加し、小学生の良きモデルとなっています。そんな意欲的に活動する子ども達を見守る地域・保護者の皆様方に、杉並区の目指す「いいまちはいい学校をつくる」姿を見た一年間でした。今後共「AKA」は地域の皆様方と連携のもと、次世代の地域市民を育成すべく取り組んでまいります。

平成二十五年 行事報告

ボウリング教室(二十四年度)	四月一日
常任委員会	四月十九日
定期総会	五月十日
常任委員会	七月十一日
ひがしはら児童館キャンプ	七月十日・十三日
あっぱれ!!天小子どもまつり	七月十五日
ラジオ体操(天沼小)	七月二十日～二十七日
ラジオ体操(杉九小)	八月十九日～二十八日
少年野球大会およびボランティア育成	八月三日
新事業(水辺の安全教室カヌー体験)	八月二十五日
環境浄化パトロール	九月七日
野外活動(むさしの村)	九月二十三日
行事反省会	十月十五日
広報「あまぬま」発行	十月十五日
ひがしはら秋まつり	十一月二日
環境浄化勉強会	十一月二十一日
子ども料理教室	一月二十五日
委員研修	一月二十九日
広報「あまぬま」発行	三月十五日
ボウリング教室(二十五年)	三月三十一日予定

卒業・進級おめでとう

第8回 小中学生のための

ボウリング教室開催!

3月31日(月) 8時45分集合

萩窪ユアボウル 参加費 100円

※詳しくは学校で配られたチラシを見てね!

お問い合わせは090・2760・4670 佐藤まで

